

●宮崎小学校6年生が杵廻しでの田植えを体験しました

多面的機能支払活動の一環として令和2年5月26日に開催した、NPO法人「石母田ふる里保全会」のめだかの学校「びおと〜ぷ」は、平成19年から活動し今回で14回目の開催となりました。この活動には、加美町立宮崎小学校の6年生14名が参加し、「ほ場に「杵廻し」で目印をつけ裸足で手植え」、「メダカの産卵のためピオトープへ苗の投げ植え」、「在来種、外来種等の生態系確認のための生き物調査」、「沢蟹の保全区域の見学」等様々な体験活動が行われました。今年度は新型コロナウイルスの影響がありましたが、地域と学校の協力のもと開催することができました。宮崎小学校6年生は楽しく農業の歴史、環境配慮について学ぶことができ、多面的機能支払活動を継続的に実施することで、農業農村及び環境配慮について理解を深められる有意義な活動となっていました。

▶「杵廻し」を転がす様子



▶手植えの様子



●直進アシスト田植え機による田植えの実演会が行われました

令和2年5月21日に加美町の「農事組合法人いかずち」のほ場で、直進アシスト機能を搭載した田植え機による田植えの実演会が行われました。

水稻種子の生産を行っている「農事組合法人いかずち」では優良種子の確保が重要となっており、異品種等混合防止のために、異株や雑草の除去作業が欠かせません。この除去作業にかかる労力削減のため、いかずちでは今後、スマート農業の実践として自動操舵除草機の導入を見込んでおり、そこで、今回の実演会で直進アシスト田植え機による高精度な植え付けの実演が行われました。

GPSアンテナユニットを搭載した直進アシスト田植え機は、旋回や外周を除いた直進部分の植え付けを自動で行うことができ、植え付け中にハンドルから手を放し、運転を停止することなく苗の補充することが可能です。実演会では見事にまっすぐに植え付けられる様子が見られました。



▲手放しで植え付けをする様子

●花いっぱいプロジェクトを実施しています

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出やイベント等の自粛による、花きの需要低迷を支援するため、関係機関や民間企業等と連携しながら、県産花きの魅力の発信や活用を創出し、花きの消費喚起を図るための、「宮城県花いっぱいプロジェクト」を実施しています。

北部NN部でも、プロジェクトの趣旨に賛同いただいた工事施工業者（13業者）が、工事現場で県産花きの活用に取り組み、工事現場のイメージアップを図っています。

～プロジェクト内容～

- ① みやぎの花注文販売会（フラワーウォーク）開催
- ② 県産花き活用促進（花のあふれる街づくり運動）
 - ・公共工事現場等における花きを活用した環境整備の促進
 - ・公共施設等における活用拡大支援
- ③ その他
 - ・各種メディアを活用した県産花きの消費拡大PR
 - ・花き生産者の利益確保に向けた国事業の活用



取組状況（加美町 東鹿原地区）

●農業用水利施設の安全対策に取り組んでいます

当事務所では、農業用水利施設における水難事故の防止を目的に、平成30年度より県及び市町・改良区を構成員とする「農業用排水施設安全対策委員会」を設置し、安全対策の推進を行っています。

近年、子どもが釣りや水遊びに夢中になりため池に転落したり、高齢者が散歩中に水路へ滑り落ちたりする事故が発生しています。また、ため池や水路は水深が深くなっていたり、水の流が急だったりにするために、転落すると自力で這い上がるのは困難です。こうした事故を未然に防ぐために委員会では主に以下の3つの活動に取り組んでいます。

1つ目は農業用水利施設の点検パトロール。2つ目は点検パトロールにおいて侵入防止柵など安全対策が不十分な施設について、管理者である市町・改良区が修繕計画を策定し、計画的に修繕を実施すること。3つ目は小学校でのポスター掲示による注意喚起の依頼や、市町・改良区の広報誌やHPでの注意喚起などといった啓発普及です。



▲注意喚起ポスター

▼水難事故の発生状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
宮城県内	4件	3件	5件	0件
大崎管内	1件	2件	0件	0件

●北部 NN の新職員を紹介します

北部 NN に今年度、新たに新規採用職員3名と、秋田県からの派遣職員1名が加わりましたので紹介します。

□新規採用職員

計画調整班 千坂 赳史 主事

初めまして。今年度より北部 NN 計画調整班に配属となりました，千坂赳史（たけし）と申します。



出身は栗原市で，大学は山梨県の富士山の麓にある都留文科大学を卒業しました。趣味はサッカー観戦，料理，古着屋巡りです。食べることも好きで，これから宮城県の美味しいものをたくさん食べ歩いていきたいです！

農業については右も左もわからず，皆様に多々ご迷惑をおかけすると思いますが，日々，努力していきますのでよろしくお願いいたします。

農地整備第二班 門間 大虎 技師

皆様初めまして。今年度より北部 NN 農地整備第二班に配属となりました，門間大虎（だいち）と申します。



出身・育ちともに宮城県です。高校は宮城県小牛田農林高等学校の農業土木科を卒業いたしました。趣味は読書です。おすすめの本・作家さんなどがあればぜひ教えてください！

これから農地整備事業を担当させていただきます。まだまだ未熟で皆様にはご迷惑をおかけしますが精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

□秋田県からの派遣職員

水利施設保全班 佐々木 博之 主任主査

秋田県から派遣で来ました佐々木博之です。この4月から周りの職員の皆様にいつも助けられており，感謝いたします。



趣味はドライブと食べ歩きです。ただ，「新型コロナ」の関係で現在はまだ新規開拓できていませんので，落ち着いたたら徐々に実践していきたいと考えております。出身地は大仙市で「大曲の花火」が知られているかと思います。1日も早い復旧ができるよう地元のために頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

農地整備第五班 鈴木 領太郎 技師

皆さま初めまして。今年度より北部 NN 農地整備第五班に配属となりました鈴木領太郎と申します。



出身は宮城県の登米市です。大学は岩手山と川の風景が綺麗な岩手大学を卒業しました。

趣味は車での旅行です。落ち着いたらどこかに訪れたいと思っています。やってみたいことがたくさんあるので，出来たらいいなと思っています。

これから，農地整備事業を担当しますが，まだまだ至らない点がたくさんある未熟者ですので皆さまにご迷惑を掛けることが多々あると思いますが，全力を尽くして頑張りますのでこれからもご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

●令和2年度新任職員研修（前期）が行われました



▲執務室の一面での研修の様子

令和2年5月11日から13日にかけて令和2年度新任職員研修が行われました。例年は公務研修所に各部の新任職員が一室に集められて行われる新任職員研修ですが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため各所属にて実施されました。

北部 NN 部では対象の新任職員3名が受講いたしました。

具体的な内容としては、公務研修所・県庁各課が作成した音声データでの講義と、民間のeラーニングによる研修となりました。

受講者一人一人が目の前のパソコンに向かい黙々と作業を進めていく形で例年とは違った研修の様子が見られました。

個人による作業が多く、受講者各人が自己と向き合い、県職員としての心構えや理想の職員像を築くことができたのではないかと思います。

●概要図「令和2年度 大崎・栗原地域の農業農村整備」が完成しました

北部管内の NN 事業概要図「令和2年度版大崎・栗原地域の農業農村整備」が完成いたしました。

この概要図には、大崎・栗原管内の県営事業及び団体営事業地区の概要、地区の進捗率、地区の位置及び受益図等、業務の参考となる情報が掲載されています。

各種研修会における配付等、概要図をご活用された場合は、用途と必要部数を北部 NN 計画調整班までご相談ください。



宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部

〒989-6117 宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号(宮城県大崎合同庁舎4階)

TEL 0229(91)0701(代)

FAX 0229(23)5014

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/>

編集:北部PRWG